

バリ取り加工・研磨布紙加工技術専門委員会

設置年：平成22年～，会員数：80人，委員長：北嶋弘一（関西大学）

開催日時：平成29年9月28日(木)13:00～17:00

会場：宇都宮大学工学部

参加人数：14名

1. はじめに

今年度の第1回研究見学会は、栃木県宇都宮市にある国立大学法人宇都宮大学大学院工学研究科の特殊精密加工研究室を訪問して磁気作用を利用したバリ取り・エッジ仕上げ技術をはじめ超精密加工技術の開発・応用研究をされている鄒 艶華(しゅう えんか)准教授の研究室を見学させていただいた。定刻通り、北嶋弘一委員長の開会挨拶で始まり、講演会・見学会へと進行した。

2. 講演会

今回の研究見学会は「“磁気”を有効に活用しよう！」をテーマに、低コスト・高品質なバリ取り・エッジ仕上げ技術を目指そうとする趣旨である。まず、プライオリティ㈱代表取締役社長の中野 修氏より「磁気バレル加工の応用事例」と題し、加工事例や特徴などについて紹介いただいた。続いて「磁気を利用した加工技術とその応用」と題し、宇都宮大学大学院 准教授 鄒 艶華氏より磁気研磨法の特長や磁性砥粒を利用したバリ取り・エッジ仕上げ技術など、研究データを参考に講演いただいた。

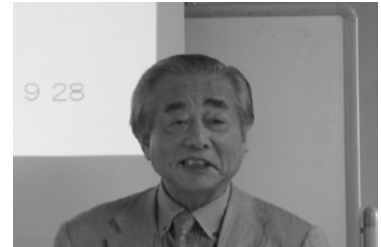
3. 研究室見学会

講演で紹介された研究設備を見学させていただいた。地域共生研究開発センターのイノベーション創成部門に所属する研究室では、企業のニーズに応えるために複雑形状の精密部品の機械加工時に発生するバリ対策として、磁気援用によるバリ取り・エッジ仕上げの新技術開発に熱心に取り組まれている状況を把握できた。

4. おわりに

今回の研究見学会は参加者が少なく寂しくはあったが、講演の最中から質問が飛び出し、活発な意見交換が交わされた。磁気作用を利用した「バリ取り・エッジ仕上げ、表面仕上げ」に関して深く関心をもたれ様子で、有意義な研究見学会であった。

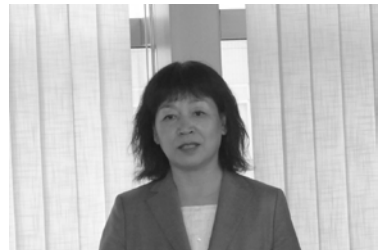
(文責・長谷川史江)



委員長:北嶋弘一氏



プライオリティ:中野 修氏



宇都宮大学:鄒 艶華氏



講演の様子



質疑応答